

令和7年度山梨県普及センターだより(10月号)

花色変化が美しい！ふじさんアジサイ県育成品種「かいあかり」

総合農業技術センター 農業革新支援センター

山梨県花き園芸組合連合会「ふじさんアジサイ研究会」では、ふじさんアジサイ[※]の産地化を目指して取り組んでいます。

県が育成し近い将来市場出荷が見込まれる新品種「かいあかり」を、同研究会と県が協力してFAJ(株式会社 フラワーオークションジャパン)で開催されるトレードフェア(市場商談会)へ出展することとなり、この取り組みに対し、展示方法や品種特性の説明等に支援を行いました。

商談会では、「かいあかり」の鉢花や切り花など様々な商品を紹介するとともに、市場や専門店の担当者にニーズ調査を行ったところ、綺麗に花色が変化した「かいあかり」に多くの方々から高い評価が得られ、出荷を待ち望む声も聞かれました。

今後は、今回得られた情報などを「かいあかり」を試作している研究会員と共有し、品種の定着に向けた支援を行っていきます。

ふじさんアジサイとは？

- ふじさんアジサイは、日本原産の落葉低木ノリウツギの仲間です。
- 一般に花穂が円錐型のものを、ピラミッドアジサイと呼び、山梨県で生産されているものを「ふじさんアジサイ」と命名しました。

ふじさんアジサイの特徴は？

- 4月頃から伸びた枝の先端に花芽が付き、その年の夏に開花します。
- 花の鑑賞期間は、開花から2～3カ月程度です。
- 花色は、白色からピンク色、赤系色に変化します。
- 日当たりの良い場所を好みます。



高評価が得られた
「かいあかり」



FAJ市場商談会への出展(10月)



山梨県ブースを訪れる専門店等の担当者

令和7年度山梨県普及センターだより（10月号）

オリジナル品種「サンシャインレッド」の普及に向けて

果樹試験場 農業革新支援センター

「サンシャインレッド」は、令和6年度までに18,000本以上の苗木が県内全域に供給されており、今年から本格出荷が始まり、さらなる品質の向上が求められています。

この品種の特徴である鮮明な赤い色に仕上げるには、着色管理が重要なポイントとなります。

そこで、令和7年度版の「栽培管理の手引き」について、着色管理の項目を見直すとともに、果樹担当普及指導員とJA営農指導員（合計で約90名）を対象に、5月の開花期前後における房づくり・ジベレリン処理、6月の摘粒・摘房、さらに、7月から8月の着色期にかけての着色管理について、それぞれの時期に応じた研修会を開催しました。今年度は特に品質向上に向けた着色管理技術に重点を置いて技術統一を図りました。

また、従来の長梢剪定に加えて、短梢剪定栽培についての研修会も行い、栽培管理上の留意点などについて理解を深めていただきました。



研修会の様子